

駒込地域の学校改築説明会（染井よしの町会）

1. 開催日

令和 7 年 2 月 27 日（木）午後 7 時～午後 9 時

2. 開催場所

区民ひろば仰高（豊島区駒込 4-12-3）

3. 出席者

（町会側）染井よしの町会長など近隣住民 60 名

（豊島区）教育部長、学校施設課長、学校施設課学校施設管理係長

4. 主な質疑の概要

（1）改築事業全体について

Q：改築事業プロジェクトの推進体制を明らかにしてほしい。

A：今回の改築計画は、区長を含めた体制で策定している。今後も区として必要な体制を整えて改築事業を推進していく。

考える会において建替えのコンセプト等を協議のうえ、提言書をまとめていただき、その上で区が基本構想・基本計画を策定し、改築設計を進めていく予定である。

なお、考える会は地域や学校組織の代表者にご参加いただく予定だが、地域への説明会も予定している。

Q：子どもの数が減っていると思うが、改築事業は児童・生徒数を踏まえて検討しているのか。

A：駒込地域は子どもの数が増えており、駒込小・仰高小ともに校舎のキャパシティは限界である。将来の子どもの数の推計値も踏まえて、改築計画を検討している。かつては 42 あった小中学校を統廃合により 30 校としたが、現在、区内において学校統廃合の予定はない。

駒込中は、隣接する巣鴨北中が改築済であるため、これまで隣接校選択制によって巣鴨北中に生徒が流出する傾向にあったが、改築して環境が充実すれば、駒込中を選択する生徒も増えてくるものと考えている。

(2) 考える会など地域住民との対話について

Q：学校改築は地域環境に大きな影響を与える事業である。地域とのコミュニケーションの手段についてどう考えているのか。

A：学校関係者や地元町会の代表者に考える会に参加いただき、改築についてご意見をいただくことを想定している。

考える会は令和8年度に掛けて1年半くらいの会期を想定しており、経過等についてはニュースを発行して地域の皆さまに周知するほか、区ホームページにも掲載する予定である。

Q：考える会以外での地域住民との対話の場を検討しているか。

A：児童・生徒・保護者・町会等へのアンケート調査を予定している。その他個別のご意見については町会単位で集約いただけるとありがたいが、直接学校施設課へお問い合わせいただくことも可能である。

なお、現建物の解体や仮校舎の整備など、工事を実施する前には必ず説明会を開催する。

Q：地域住民は、個々に関心のあるテーマや疑問点が異なっている。そうしたことを踏まえ工夫した対応を検討してほしい。

A：考える会ニュースの内容を工夫するなど検討していきたい。

Q：考える会の位置づけや進め方が不明確である。権限や役割などをよく説明してほしい。また、これから子どもが学校に通う若い世代の意見を聞く場を検討してほしい。

A：考える会の詳細についてはニュース等により改めて説明させていただきたいが、考える会は意思決定機関ではない。多くの方からご意見をいただきたいので、改築事業にかかるご意見の反映方法等を検討していきたい。

(3) 仮校舎整備について

Q：仮校舎整備に伴う騒音や振動などの改善について、誰に申し入れればよいのか。

A：まずは現場において工事施工業者が対応させていただく。改善が不十分な場合などは発注者である区が対応させていただく。

Q：本日の説明会資料には仮校舎図面などがなく、意見が出せない。

A：図面については、今後設計等を行う中で作成していくため、現時点では提示できない。ご理解いただきたい。

Q：仮校舎整備に伴う工事により、周辺住戸に被害が及ぶ可能性がある。
過去の工事でも土が流れるなどの被害が発生している。

A：工事着工前に近隣住戸の家屋調査を行い、工事着手前・整備後の状況を記録する。被害を確認した場合、修繕等の対応をさせていただく。なお、調査については、文書を取り交わしのうえ、実施する。

Q：仮校舎の防災機能はどうなるのか。

A：非常用発電や備蓄倉庫など、救援センターとして必要な防災設備等を整備する。体育館など避難スペースとして活用できる施設も設ける。
詳細は防災所管と協議しながら検討していく。

Q：仮校舎は何階建てか。

A：4階建てを想定している。

Q：20年間に及ぶ仮校舎の整備や運用について不安がある。仮校舎から自宅が覗かれたり、学校からの騒音も気になる。防犯面でも不安がある。

A：防音対策などは仮校舎整備時に対応したい。仮校舎運用のご意見は区や学校にお寄せいただきたい。また、仮校舎整備に際しては近隣の方々への個別説明を実施する。

Q：仮校舎内のさくら記念館は、学校の防犯上相応しくないと考える。
狭い仮校舎地に整備する必要があるのか疑問である。

A：防犯面については、学校との動線を分けるなど対策を行いたい。
区の計画に位置付けられている事業であるため、ご意見は施設計画の担当部署にも共有する。

(4) 仮校舎整備の検討プロセス等について

Q：駒込フラット用地へ整備する仮校舎について、地域住民との検討体制をどう考えているのか。

A：仮校舎については考える会に情報提供し、ご意見等を伺うことを想定している。

Q：仮校舎は長く使う施設である。保護者や地域の意見を踏まえて、よい施設として整備してほしい。

A：小中ともに使用するため、小学生が使用しやすい仕様を念頭に建物を整備したい。最初は駒込中学校が使用するが、次に駒込小学校が使用する際には、一部施設を改修し、子どもスキップなどを整備したい。

Q：仮校舎整備についてどのように意見を出したらよいか。

A：直接学校施設課に意見をお寄せいただければ、その内容を考える会にも共有していきたい。

(5) 仮校舎の運用等について

Q：仮校舎での運動会はどうするのか。水泳授業はどうするのか。体育館の使用はどうなるのか。

A：運動会は近隣の学校と校庭をシェアすることを検討したい。

水泳は、現在改築中の千川中の仮校舎と同様、近隣の温水プールの利用を想定している。今年度、駒込小にて東京スイミングセンターのプールを利用するトライアル実施を行い、歩行動線等を検証している。

体育館は校舎内に整備する。面積には限りがあるが、バスケットボールなど球技ができる広さを確保したい。

Q：仮校舎の校庭は小さくなる旨の説明があったが、体育の時間を2時間連続にするなどして六義園近くの土地(六義公園運動場)を使用してはどうか。

A：まず文京区に確認したい。また、近隣には三菱養和会が大きいグラウンドを持っており、区でも利用実績があるため、そうした施設を活用させていただくことも検討している。

(6) 染井よしの桜の里公園の隣地（苗床用地）について

Q：染井よしの桜の里公園の隣地（苗床用地）をグラウンドとして活用するという話を聞いたが、以前、保育園の仮園舎として活用した際、今後、こうした仮の施設として活用することは無いとのことだったが。

A：グラウンドについては、仮校舎の敷地内に小さなグラウンドを整備する予定である。ご指摘の苗床用地もまとまった広さがあるため、今後検討していきたいが、現在の苗床をどうするか等の課題もある。少なくとも仮校舎などの建物を整備する予定はない。

Q：苗床用地の活用例として何か想定はあるのか。

A：ミニグラウンドなどがあり得ると思われるが、未定である。整備の際には必ず事前に地域への説明を行う。

(7) 桜について

Q : 仮校舎の整備にあたって桜並木をどうするか、現時点では未定かもしれないが、現状どおりであれば、落ち葉などの対策をしっかりと講じてほしい。

A : 対応を検討する。

Q : 駒込地域は桜を活かしたまちづくりを進めており、改築事業推進に伴う桜の活用や桜の保全の方法をどう考えているか。

A : 既存の桜については、今後仮校舎を設計するうえでどのような影響があるのかを精査する必要があるが、まずは、子どもたちが通学する上で、安全面の確認が第一であると考えている。

なお、本年2月に公表した「公共施設更新計画(案)」では、仮校舎に「(仮称) さくら記念館」を設けるとしており、こうした施設も含め、駒込地域の桜と学校改築を並行して考えていきたい。

(8) 工事車両について

Q : 仮校舎の工事車両の動線は、仰高小前の道を右折し、染井通りを進んでいくことが想定されるが、生活道路であり、事故や騒音などが懸念される。

A : 工事車両は適正なサイズのものを選定し、警備員・誘導員設置などの安全対策も行いたい。車両通行時間も通学時間は避けることを検討したい。

また、工事車両通行については、事前に警察への協議を行う予定である。

Q : 駒込中学校や駒込小学校の周辺道路が狭いので、改築工事車両の動線などが不安である。

A : 工事車両は道路環境に応じて適切に選定する。また、改築工事により、歩道状空地を整備するなど、安全な歩行環境の実現を検討したい。

(9) その他の質疑応答

Q : 駒込中改築中の令和11年度～15年度、駒込小は現校舎を使うのか。

A : その通りである。駒込小は令和16年度から工事を予定しており、駒込中改築中の令和15年度までは「建替え等を考える会(以下「考える会」)」での検討や改築工事に向けた設計等を行う予定である。

Q : 仰高小正門前の道路は見通しが悪く危険である。道路改良できないか。

A : 改築に際しては歩道状空地を整備するなど、安全な歩行空間の実現を検討したい。また、学校改築はまちづくりの一環と考えるので、防災機能向上も含めた地域の安全性向上に努めていく。

Q : 駒込中を建て替えた後の校舎配置はどうなるのか。

A : 現在の配置を原則とするが、関係法令などを踏まえて設計の中で検討する。

改築の機会を活かして、近隣の住戸への影響を小さくした事例もあるので、設計の中で検討したい。学校改築により、地域環境の向上を目指していく。

Q : 改築した学校を見学したい。

A : 考える会では改築校の事例視察を予定している。

地域の方々による豊島区内の学校見学についても、ご希望があれば対応可能である。